

# 競技注意事項

## 1 本大会は、2021年度日本陸上競技連盟競技規則及び本大会の申し合わせ事項によって実施する。

なお、競技規則の**競技会規則**(Competition Rules)をCR、**競技規則**(Technical Rules)をTRと表記する。

### (1) ハードル種目の区分ハードル種目の区分（ハードルの高さ／ハードルの間の距離）は、次のとおりとする。

男子 110m (1.067m/9.14m)      男子ジュニア 110m (U20/U18) (0.991m/9.14m)

女子 100m (0.838m/8.50m)

### (2) 投てき種目の区分（重さ）は、次のとおりとする。

砲丸投 男子 一般 (7.260kg) 高校 (6.0kg)      女子 一般・高校 (4.0kg)

円盤投 男子 一般 (2.0kg) 高校 (1.75kg)      女子 (1.0kg)

ハンマー投 男子 一般 (7.260kg) 高校 (6.0kg)      女子 (4.0kg)

やり投 男子 (800g) 女子 (700g)

## 2 新型コロナウイルス感染症防止対策について、定められた文書等を遵守すること。【別紙】

## 3 ウォームアップ・練習について

本大会（競技会）の期間に、練習会場使用日程に示す時間帯で、「18 練習について（練習会場注意事項）」にもとづき練習ができる（練習会場の競技役員の指示に従い練習が可能である）。

## 4 招集について

- (1) 招集所は、バックスタンドの北側の裏（掲揚台の北側）に設置する。
- (2) 招集開始時刻・招集完了時刻は、プログラム記載の競技日程のとおりとする。
- (3) 出場種目を欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。
- (4) 招集完了時刻に遅れた競技者は、当該競技種目を欠場したものとする。

## 5 アスリートビブス（ビブス）について

- (1) アスリートビブス（ビブス）は主催者が2枚配布する。  
競技者は、競技中、胸と背にはっきり見えるように2枚のアスリートビブス（ビブス）をつけなければならない。  
跳躍競技の競技者は、背または胸につけるだけでもよい（競技規則 TR5.7）。
- (2) 腰ナンバー標識について
  - ① トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識（招集所で配布）をショーツまたは下半身の右後方につける。
  - ② 4×100mリレー・4×400mリレーでは、最終走者は配布された腰ナンバー標識をつける。  
このほか、4×400mリレーの第2・第3走者も腰ナンバー標識をつける。

## 6 競技場内への入退場について

- (1) 競技場内への入退場は、Hゲート（フィニッシュ地点付近）・バックスタンドの北側の招集所入口とする。
- (2) 競技終了後は、競技役員（職員）の指示に従い、上記6(1)下線部の場所から退場する。  
なお、衣類搬送は行わないため、スタート地点に戻る際は、100m・110mH・100mH・3000mSCは雨天走路を通ること。また、200m・3000m以上の種目は第1曲走路及びバックストレートの部分をスタンド壁面に沿って戻ること。

## 7 競技の抽選及び番組編成について（レーン順・試技順）

- (1) トラック競技のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順番による。
- (2) トラック競技の決勝の組合せ及びレーン順は、招集所の掲示板に掲示する。  
または、プログラム記載のQRコードを読み取って、競技会ウェブサイトでも確認できる。
- (3) タイムによる次のラウンドに進む出場者の決定について、最終枠に同成績があった場合、写真判定員主任が0.001秒の単位の実時間を判定して決定する。（競技規則 TR21.5）。レーンが不足する場合は抽選とする。

- (4) トラック競技において決勝に進出する条件は、プログラムの「競技日程」の「組着」の欄に記載のとおり（予選の順位と記録をもとに決定）とする。また、トラック競技の一部の種目でおこなう「決勝②」には、決勝に進出する競技者以外の、予選の記録の9番目から16番目の競技者が、上記(3)と同条件で進出する。
- (5) 決勝②を実施する種目で、決勝に進出する競技者が決勝を欠場しても、決勝②から決勝への繰り上げは行わない。また、決勝②に進出する競技者が決勝②を欠場しても、予選の記録の17番目以降の競技者から決勝②への繰り上げは行わない。

## 8 競技について

### (1) トラック競技について

- ① トラック競技の計時は、すべて写真判定システムによる全自動計時（電気計時）を使用する。
- ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
- ③ 短距離種目では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン（曲走路）を走る。
- ④ 一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする（競技規則TR16.7,8）。

### (2) フィールド競技について

- ① 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側に主催者が用意したマーカー（走高跳は助走路内に各自の用意したマーカー）を2個まで使うことができる。また、サークルから行う投てき競技では、マーカーを1個だけ使用することができる。
- ② 棒高跳の競技者は、支柱の位置をあらかじめ所定の「アップライト申告書」に記入し、招集開始時刻に招集所の競技者係に提出する。その後、位置を変更したい場合は担当競技役員に申し出る。
- ③ 公式練習は、試技順に2回行う。
- ④ 投てき種目はすべてNDソフトスタジアム山形で行う予定であるが、天候や芝生等の状況により、サブグラウンドで行う場合がある。
- ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子9mの地点に設置する。（ただし、天候等の状況により変更することもある）
- ⑥ フィールド競技の試技時間は、次のとおりである（競技規則TR25.17）。

残っている競技者数	走高跳	棒高跳	その他
4人以上（各競技者の最初の競技）	1分	1分	1分
2～3人	1分30秒	2分	1分
1人	3分	5分	—
連続試技	2分	3分	2分

### (3) リレー競技について

- ① リレーに出場するチームは、所定の「リレー・オーダー用紙」に記入のうえ、招集完了時刻の1時間前までに、競技者係（招集所）に提出すること。一度申告したらその後の変更は、招集完了時刻までに主催者が任命した医務員の判断がない限り認められない（競技規則TR24.11）。
  - ② 4×100mリレーの第2、第3、第4走者は、各自用意したマーカー（1カ所）を使用することができる。マーカーは各チームで用意し、レース終了後に取り除くこと。
  - ③ 4×400mリレーの第3・第4走者は、審判員の指示に従い、前走者が第2曲走路入り口（200mスタート地点）を通過した順序で、内側より並び待機する。
- (4) 競技者は、ビデオ装置・レコーダー・ラジオ・CDプレイヤー・トランシーバーや携帯電話もしくはそれらに類似した機器を競技区域内で所持または使用することはできない（競技規則TR6.3.2）。所持または使用していた場合は、主催者で預かり競技終了後に返却する。
  - (5) 競技区域外での競技者とコーチとのコミュニケーションを取る（助言を受ける）ために、競技者が競技場所を離れる場合は、必ず競技役員に申し出なければならない（競技規則TR6.4.1）。
  - (6) 不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。警告はイエローカード、除外はレッドカードを示すことによって競技者に知らされる。スタート時のイエローカード（競技規則TR16.5）については、その種目限りとする。

- (7) 提出書類は次のとおりとする。(用紙は招集所に用意)

提出書類	提出場所	提出時刻
欠場届	招集所	招集開始時刻まで
2種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻まで
リレー・オーダー用紙	招集所	第1組目の招集完了時刻1時間前まで
アップライト申告書	招集所	招集開始時刻に
記録証明書交付願	T I C (スタジアム正面入口)	各競技終了後随時 (500 円を添える)

T I C : Technical Information Centre テクニカル・インフォメーション・センター

## 9 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

- (1) 走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまでは次のとおりとする  
(ただし、天候等の状況により変更することもある)。

種目	種別	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳	男子	1m65/1m80/1m90	1m70	1m75	1m80	1m85	1 m90	3 c m
	女子	1m35/1m50	1m40	1m45	1m50	1m55	1m58	3 c m
棒高跳	男子	3m30/3m80/4m30/4m60	3m40 から 4m80 まで: 10 c m ずつ					5 c m
	女子	2m10/2m70/3m00/3m50	2m20 から 3m00 まで: 10 c m ずつ					5 c m

- (2) 棒高跳の公式練習はゴムバーで行う。  
(3) ジャンプオフ (第1位決定戦) におけるバーの上げ下げの幅は、走高跳で2 c m、棒高跳で5 c mとする。

## 10 競技用具について

競技に使用する用具は、棒高跳用ポール以外、すべて主催者が用意したものを使用しなければならない。

ただし、投てき物の持ち込みを希望する競技者は、招集開始時刻 30 分前から招集開始時刻までに、招集所の競技者係に申し出る。検査に合格した投てき用具については、一括借り上げし、参加競技者間で共有できるものとし、競技終了後に大会本部の T I C で返却する。なお、借り上げた用具が破損しても責任を負わない。

## 11 競技用靴について

- (1) スパイクの長さは、9mm以内、走高跳・やり投は12mm以内とする。いずれの場合もスパイクの数は、11本以内とする。(競技規則TR5. 3, 4)  
(2)トラック競技用シューズの靴底の厚さは、800m未満は20mm以内、800m以上は25mm以内、競歩は40mm以内(競技規則TR5. 13. 3)。  
(3) フィールド競技用シューズには、競技規則TR5. 5 (靴底の厚さの規則) は適用しない。

## 12 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は、大型スクリーン (電光掲示板) 及びアナウンスで行う。  
正式発表の時刻は、大型スクリーン表示終了時刻とする。  
(2) 発表された結果に対する抗議は、30 分以内 (ただし、同一日に次のラウンドがある場合は 15 分以内) に競技者自身または代理人が、担当総務員を通じて審判長に対して口頭で申し出ること (競技規則 TR8. 2)。審判長が裁定し、担当総務員を通じて伝える。この裁定に対して上訴する場合は預託金 (1 万円) を添え、担当総務員を通じてジュリーに文書で申し出る。

## 13 表彰について

- (1) 選手権での各種目の1位の競技者には、選手権章(メダル)と賞状を、2位・3位の競技者には賞状を授与する。  
ただし、表彰の式典は実施しないので、雨天走路中央付近で表彰係より各自受け取ること。  
(2) 国体県予選会における各種目の優勝者、第2位・第3位の競技者には賞状を授与する。各自、表彰係より受け取ること。

## 14 個人情報の取り扱いについて

- (1) 主催者は、個人情報の保護に関する法律及び関連法令等を遵守し個人情報を取扱う。なお、取得した個人情報は、大会の審査、プログラム編成及び作成、記録発表、公式ホームページその他競技運営及び陸上競技に必要な連絡等に利用する。また、新型コロナウイルス感染症の対策上、必要な行政機関との連絡に使用する場合がある。
- (2) 大会の映像・写真・記事・個人記録等は、主催者及び主催者が承認した第三者が大会運営及び宣伝等の目的で、大会プログラム・ポスター等の宣伝材料、テレビ・ラジオ・新聞・雑誌・インターネット等の媒体に掲載することがある。

## 15 一般注意事項

- (1) 競技場内で着用するウェアや持ち込むバッグ等に表示されている商標は、日本陸上競技連盟「競技会における広告および展示物に関する規程」に示すサイズ・個数を超えてはならない。これに違反したものについては主催者で処置する。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は、総務員（競技担当）に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 更衣室（女性）については、NDソフトスタジアム山形の会議室3・4に設ける。  
更衣室は更衣のみに使用し、荷物は各自で管理する。
- (5) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (6) 届けられた遺失物については、T I Cで保管する。保管期間は7月10日（土）の競技会終了までとする。
- (7) 記録はその都度アナウンスで発表するが、結果記録の掲示は行わないので、プログラム記載のQRコードを読み取り、競技会ウェブサイトを確認すること。
- (8) 「記録証明書」を希望する競技者は、競技役員（役員・庶務係）に500円を添えて申し込むこと。
- (9) スタンドを含む競技場内への横断幕・旗等の設置について、本競技場では、サイドスタンド及びバックスタンドの最上段のフェンスに設置すること。幟(のぼり)は設置禁止とします。
- (10) 正面スタンド中央部付近でのスタンドから競技者への助言については、大会本部での競技運営の妨げになるので禁止する。走幅跳・三段跳の競技者への助言の場所は、競技役員の指示に従うこと。

## 16 上位大会への出場について（本大会の実施要項【別記2】参照）

### 要項 16 国民体育大会出場選手の選考

- (1) 山形陸上競技協会代表選手等選考委員会で選考する。
- (2) 成年男子の1000mWの選手は、5000mWの出場者の中から、記録会その他の成績を参考にして、強化委員会で推薦する。
- (3) 成年男子・成年女子・少年男子A・少年女子Aの300mは、200m及び400mを選考競技とする。
- (4) 少年男子A・少年女子Aの300mHは、400mHを選考競技とする。
- (5) 本大会に申込みのない競技者は選考対象にならない。
- (6) 国体種目の優勝者については、候補選手とし、個票（個人情報）の提出、及びユニフォーム・ジャージの試着を行う。

### 要項 17 東北総体の参加資格及び申込み

#### [1] 参加資格

- (1) 日本国籍を有する山形陸協登録競技者
- (2) 個人種目  
各種目上位2名を資格取得者とする。  
各種目に山形陸協推薦（1名）がない場合は、上位3番目を資格取得とする。  
ただし、上位者が辞退した場合は、順次資格取得者を繰り上げる。
- (3) リレー種目  
各種目上位2チームを資格取得者とする。  
ただし、4×100mリレーで県選抜チームが編成される場合には、上位1チームを資格取得者とする。  
上位チームが辞退した場合は、順次資格取得チームを繰り上げる。

## [2] 申込

- (1) 申込みは、各日最終種目終了後、30分以内に手続きを行うこと。  
ただし、高校生は、前段の時間まで各個人で個票申込みをするとともに、各高校顧問が、一覧表と参加料をまとめて大会期間中に申込担当庶務係に申込みを行うこと。  
なお、宿泊費・交通費等は次項による。
- (2) 参加料及び旅費（交通費と宿泊費）等について （略）

## 17 NDソフトスタジアム山形のスタンドの使用及び応援について

- (1) メインスタンド・サイドスタンドへの入場は、リストバンドを装着した者のみとする。
- (2) 応援については、以下のとおりとする。
  - ① 集団応援は厳禁とする。
  - ② 声援による応援は禁止とし、拍手での応援とする。
  - ③ スタンドで応援する際は、シートに座って応援すること。手すりに触れたり、立ち見はしないこと。
  - ④ 応援者同士が密な状態とならないよう、互いの間隔を十分空けること。
  - ⑤ マスクを着用すること。また会話を控えるように心掛けること。
  - ⑥ テープやシールが貼ってあるシートには座らないこと。
- (4) トラック競技においては、競技種目や出場競技者を紹介するアナウンスがあれば、静粛にする。  
フィールド競技においては、試技を開始しようとしている競技者がいるときは、静粛にする。

## 18 練習について（練習会場注意事項） 次ページの記載事項・表も参照のこと

- (1) 練習は、各個人及び監督の責任のもと、ウォームアップ場係の指示により、練習会場使用日程に示す時間帯で行い、事故防止には注意を払うこと。なお、練習中に発生した疾病・傷害等については、応急処置は主催者において行うが、以後の責任は負わない。
- (2) 雨天走路は原則として開放しない（感染症対策のため）。
- (3) 投てき会場では危険が伴うので十分注意して行うこと。なお、使用する投てき用具は各自持参すること。
- (4) 各練習会場のトラックのレーン内において、次の行為を禁止する。  
ミニハードルなどの練習用具をレーン上に置いての練習 / チューブやロープ等でけん引する練習  
逆走 / 準備運動、ドリル等の技術練習 / 急に減速したり、立ち止まったりする行為  
不用意にレーンを横切る行為
- (5) NDソフトスタジアム山形（主陸上競技場）及びサブグラウンドでの練習は、次のとおりとする。
  - ① <NDソフトスタジアム山形の使用>  
ウォームアップでの使用を認める。
  - ② <サブグラウンドのレーンの使用区分>  
競走路の使用は、原則として以下の通りとする。  
各レーンとも、第4コーナーからホームストレートの交点付近は危険なので、特に注意すること。
    - ・ 周回1～2レーン：中・長距離（800m以上の種目）
    - ・ 周回3～4レーン：短距離（100m～400m）、リレーの種目
    - ・ 5～6レーン（第1曲走路からバックストレート及び第2曲走路）：400mハードル
    - ・ 4～6レーン（ホームストレート）：スターティングブロック設置可
    - ・ 7～9レーン（ホームストレート）：100mハードル・110mハードル
    - ・ ジョギングは、トラック外側の芝生帯で行うこと。※ ただし、当日の競技種目により、レーンの使用区分を変更する場合もある。
- (6) 競技終了後の高校生・中学生の練習は、各学校の顧問の指導及び責任のもとで行うこと。

## 19 テントの設営について

テントを設営する際は、地面とテントの支柱をロープと杭等により固定するか、または支柱にバランスよくテントウエイト（重し：土砂などを入れた袋等(10～30kg程度)を支柱にくくりつける等）を取り付けること。また、危険と判断される突風、つむじ風などが発生した時は、テントをたたむこと。

※ 各種目の練習については、安全に十分留意しておこなってください ※

練習会場使用日程 第74回山形県陸上競技選手権大会 第76回国民体育大会陸上競技山形県予選会

NDソフトスタジアム山形 (主陸上競技場)

	7月8日(木)	7月9日(金)	7月10日(土)
棒高跳	9:30~11:50	7:30~8:50(男子) 競技終了後~18:00(女子)	7:30~9:20(女子)
トラック競技	競技終了後の後片付けが終わった後※1~18:00※2	7:30~8:30 競技終了後の後片付けが終わった後※1~18:00※2	7:30~8:30

- ※1 競技場の状況を担当競技役員が確認し、主競技場を練習会場として開放することを、放送で知らせる。  
 ※2 競技終了後の後片付けが終わった後、18:00まで、主競技場で走高跳、走幅跳、三段跳の練習は可能である。ただし、必要な用器具(練習用)を、使用する競技者が準備し、後片付けること。  
 ※競技会第2日・第3日の棒高跳の練習会場は、主陸上競技場とする。  
 (競技会第2日・第3日は、サブグラウンドに棒高跳用のマット・支柱等を設置しない)

サブグラウンド

7月8日(木)	7月9日(金)	7月10日(土)
9:00~17:00	7:30~17:00	7:30~15:30

- ※走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳の練習は、サブグラウンドで行うこともできる。  
 ※投てき競技については、「投てき競技練習会場及び日程」を参照のこと。

投てき競技練習会場及び日程

□の囲みは、その種目で練習会場を占有して使用することを示す

	7月8日(木)		7月9日(金)		7月10日(土)	
	サブグラウンド	投てき練習場=運動広場	サブグラウンド	投てき練習場=運動広場	サブグラウンド	
	砲丸投	やり投	砲丸投	やり投	砲丸投	やり投
7:00						
:30						
8:00					7:30	7:30
:30					男子 円盤投	女子 砲丸投
9:00	9:00より前は使用不可				8:30	男子 やり投
:30					9:20	9:00
10:00					女子 円盤投	9:00
:30					10:00	男子 やり投
11:00	10:00	9:30			男子 砲丸投	女子 やり投
:30	少年 女子B 砲丸投	少年男子共通 円盤投				
12:00	12:00	11:40			12:00	
:30	少年 男子B 砲丸投	少年男子A ハンマー投			女子 ハンマー投	
13:00	13:10	14:10			14:00	
:30						
14:00						
:30						
15:00						
:30						
16:00						
:30						
17:00						

## 天童市内の救急告示病院

天童市民病院	023-654-2511	天童市駅西5丁目2-1
天童温泉篠田病院	023-653-5711	天童市鎌田1丁目7-1
吉岡病院	023-654-1188	天童市東本町3丁目5-21

## 気象情報

大会名	第74回山形県陸上競技選手権大会	実施日	2021年7月8日～10日
	第76回国民体育大会山形県予選会	会場	NDソフトスタジアム山形

	時刻	天候	気温 (°C)	湿度 (%)	風向	風速 (m/s)
7 月 8 日	12:00					
	13:00					
	14:00					
	15:00					
	16:00					
	17:00					
7 月 9 日	9:30					
	10:00					
	11:00					
	12:00					
	13:00					
	14:00					
	15:00					
7 月 10 日	9:30					
	10:00					
	11:00					
	12:00					
	13:00					
	14:00					
	15:00					

## 新型コロナウイルス感染拡大防止に関して参加者をお願いする事項

本競技会は、公益財団法人山形県スポーツ協会制定の新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン及び本協会の方針により、【無観客開催】となります。参加する競技者、審判員及び事前に申請があったチーム関係者等は、以下の感染症防止対策を遵守し、安全な大会の運営に御協力をお願いします。

### (1) 競技会当日に、住所や連絡先等を記載した以下の体調等に関する確認書類を提出すること。

- ① 健康チェックシート（大会前 14 日分を参加初日に提出）、（大会後 14 日分は各自保管）
- ② 体調管理報告書（毎日提出）

### (2) 競技会全体での感染防止対策

- ① マスクを着用すること。※運動中（任意）、周囲に人がいない場合及び熱中症防止等でやむを得ない場合を除き、マスクの着用を徹底する。
- ② こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること。
- ③ 密閉、密接、密集の三密を避け、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ④ 競技会中に大きな声での会話や応援等をしないこと。
- ⑤ 感染防止のために主催者が定めた処置を守り、指示に従うこと。
- ⑥ 競技会終了 14 日以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に速やかに報告すること。  
(連絡先：山形陸上競技協会事務局 TEL：023-657-3070 FAX：023-665-5579 )
- ⑦ 競技会前後のミーティング等を簡潔にし、その際においても三密を避けること。
- ⑧ 各自のゴミは、責任をもって持ち帰ること。

### (3) 競技中やウォーミングアップ時

- ① 汗拭きタオル等の共用はしないこと。
- ② 水やスポーツドリンク等の回し飲みをしないこと。
- ③ 飲みきれなかったスポーツドリンク等は、各自責任をもって持ち帰り処分すること。
- ④ ウォーミングアップは個別に行い、指導者以外付き添いなどの立ち入りを禁ずる。
- ⑤ 競技中やウォーミングアップ時において、唾や痰をはくことは極力行わないこと。
- ⑥ 競技の待機場所等では会話を控えること。
- ⑦ 競技（レース、試技）の前後に石鹸で手洗い又は手指消毒をすること。

### (4) スタンド等での観戦・応援

- ① 観戦許可エリアは、メインスタンドは中央通路より下とするが、サイド及びバックスタンドは制限を設けない。
- ② 密な状態にならないよう、観客席等の間隔を十分空けて座ること。
- ③ 大声での声援を送らず、また会話を控えるよう心掛けること。
- ④ 常時マスクを着用すること。